



iGHP セミナー

UHC2030

UHC 達成に向けて求められるマルチステークホルダーの役割

日時 2019年8月1日(木) 15:00~16:30

会場 国立国際医療研究センター・研修センター棟 1階

グローバルヘルス政策研究センター (iGHP)

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 Tel: 03-6228-0562

2015年に国連に加盟する193か国によって合意された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、2030年までに、より安全で、公正で、健康的な世界を実現しようという野心的なアジェンダです。より健康的な世界を実現するため、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)達成というターゲットが、SDGsの目標3に含まれています。

UHC達成のためには、複数のセクターにまたがる連携と、保健システムの強化(HSS)が必要とされます。UHC2030は、UHC達成に向けた各国及びグローバルなレベルでの、官公民等のマルチステークホルダーが協力するためのプラットフォームを2016年から提供しています。より具体的には、(1) グローバルなレベルでのUHC達成に向けたHSSへの取組みの調整、(2) 各国におけるHSSのためのマルチ・ステークホルダーによる政策協議と調整の強化、(3) SDGsの目標3のためのアカウンタビリティに貢献するようなUHC達成に向けた進捗のモニタリング、(4) 「UHCのためのHSS」というグローバルに共有されたビジョンへの政治的機運の盛上げや、HSSへのリソース配分の最適化への提言、などを目的としています。

9月23日に国連UHCハイレベル会合が開かれるにあたり、会合準備にも携わるUHC2030の活動についても注目が集まっています。本セミナーでは、UHC2030事務局(ジュネーブ・ワシントンDC・ニューヨーク)で活躍されている渡部明人氏からご報告いただきます。

プログラム

15:00-15:05 挨拶

梅田 珠実 (NCGM 国際医療協力局)

15:05-15:10 紹介

勝間 靖 (NCGM-iGHP、早稲田大学)

15:10-15:30 報告「UHC2030の存在意義とグローバルレベルでの主な活動について」

渡部 明人 (UHC2030事務局)

15:30-16:30 意見交換「国連UHCハイレベル会合へ向けて」

*本セミナーは公開での開催となります。

登録の必要はありませんので、関心ある方は当日にiGHPまでいらしてください。

本件に関するお問い合わせ先：ighp-admin@it.ncgm.go.jp

UHC2030について：<https://www.uhc2030.org>

国連UHCハイレベル会合について：<https://www.uhc2030.org/un-hlm-2019/>

国連UHCの日について：<http://www.uhcday.org/>

主催：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター